



阿武山は茨木市の北部北摂山地に位置し大阪50山の一つに認定。麓には阿武山古墳（藤原鎌足の墓）があり、また古墳の隣には京都大学地震観測所があります。

江戸時代、徳川幕府公認の堂島米会所の米相場をいち早く伝えるため旗振り通信が行われましたが、阿武山はその拠点の一つでした。歴史的な役割を担った山でもありました。

山頂からは高槻市街・茨木市街が見通せます。また、建設中の安威川ダムを望むことができます。安威川ダムは8月基礎処理工が完了、試験湛水を開始しています。

日時：2023年2月17日（金）

集合：JR 総持寺駅 09時45分 JR 京都線大阪駅から約20分 （ 阪急総持寺駅から北へ約5分 ）

行程：JR 総持寺駅 - 安威川河川敷 - 桑原橋 - 登山口 - 稲荷神社 - 阿武山古墳
 - 阿武山山頂 (281m) (昼食・班長会) - 安威川ダム - 阿武山口 - 関西大学バス停
 - JR 高槻駅北 1530 解散 約9km

持物：弁当、飲み物、敷物、雨具、防寒具、マスク、ストック

出欠連絡：各班長は、1月27日までに4班橋本班長へ参加人数をお知らせください。

実施可否：前日の予報で、茨木市の降水確率が50%以上の場合は中止とし、橋本班長より全体メールで連絡します。

トイレ：山中にはトイレがありません。

帰路：関西大学バス停から臨時バス
14時50分 （280円）

安威川ダム（あいがわダム）は、大阪府 茨木市 生保（しょうぼ）地先、淀川水系 神崎川 の右支川である 安威川 に建設中の ダムである。安威川は大阪府北部を流れ、神崎川に合流して 大阪湾 に注ぐ河川である。流域は古くから洪水に悩まされる地域であり、堤防築堤などの対策が採られていたが、1967年（昭和42年）7月に流域を集中豪雨が襲い、安威川は茨木市野々宮付近で決壊して61人が死傷し、浸水家屋は25,000戸におよぶという、全体で1,000億円以上の被害額を出す大水害に見舞われた。

ダム型式：中央土質遮水壁型、ロックフィルダム

